

もっと清水が好きになる。

しみのすの風

特集

報徳思想と協同組合

2018

2

No.532

おいしいをつくりましょ。

JALしみのす

Glowing Face

— いま、清水で輝いている人たち —



三浦 正規さん (59)

(株)ベリーベリーファーム 代表取締役

脱サラしてハウスを建設 観光農園を開くのが夢

父親から受け継いだ農業を法人化。ノウハウを共有して効率化を図る。

栽培データと技術を融合

駿河湾と富士山が広がる清水区日本平地区でイチゴを育てる三浦正規さん。ハウスには温度、湿度、照度、二酸化炭素をパソコンで管理する近代的なシステムを取り入れつつも「データだけでは植物は育たない」と、現場の状況にも目を光らせる。手入れの行き届いた清潔感のあるハウスには高設の棚が並び、静岡県の代表品種「紅ほっぺ」と早生品種の「かおりの」が植えられていた。

「いい物を作るには、環境が良くないとね。定期的な掃除は欠かせないよとこやかに言う。

法人化で継承可能な農業へ

もともとは造園や園芸関係の仕事

みうら まさのり / 2005年に就農。矢部土地改良区でイチゴ33a、ブルーベリー50a、はるみ10aを栽培する。



表紙／～紅ほっぺ～

タイトル文字：クリエイティブ書家 岩科蓮花

CONTENTS

- 2 Glowing Face
三浦 正規さん
- 4 特集／
報徳思想と協同組合
- 9 リスクアドバイザー赤堀の
ちょっといい話
- 10 育ててみよう！家庭菜園
「ニラ」
- 12 2～3月の営農ワンポイント
- 15 カラダにうれしい旬レシピ！
「ホウレン草カレー」
- 16 TOPICS
- 18 Information
- 20 ワンパクしみずっ子
「八坂幼稚園（清水区八坂東）」



しみずの風の
記事の一部を
Web 動画で配信中！！



スマートフォン、タブレット、
パソコンから記事の一部が
動画でご覧になれます。



■ 清水港と富士山を望む矢部土地改良区。手前は三浦さんのイチゴハウス。

をしていた正規さん。サラリーマンを
やめ、体調を崩した父親から家業を引
き継いだ。しかし、一緒に仕事をする
機会はないまま、父親は数年間の闘病

をしながら学ぶ時間がなかった分、さ
まざまな勉強会の情報を集めては積
極的に出掛け、全国のイチゴ生産者と
交流し、見聞を広げてきた。
ハウスを建てた当初こそ病害虫に
悩まされたが、3～4年経ったところか
らは軌道に乗り始め、3年前には夏の

の後、他界。その年にパック詰めを手
伝っていた母親もケガをしてしまい、
すべての仕事を一人で引き受けるこ
とになった。一人で何役もこなす苦勞
を経験し、「家族経営の限界を痛感し
た」と話す。
やがて、工事中だった矢部土地改良
区の畑が完成し、農業を続けるかどう
か悩んだ末、「やるなら人を雇用して、
規模を広げてやろう」と決意。ハウス
6棟を建て、2014年には農業生産
法人「ベリーベリーファーム」を立ち
上げた。



■ 作業のしやすい高設栽培で育てられている「紅ほっぺ」。
アンテナショップきらりや直売所をはじめ、市内のスー
パーなどにも出回る。

収入源としてブルーベリーを植栽し
た。基盤整備地ゆえの規制はあるもの
の「この景観を生かして、観光農園を
開きたい」と夢を語る。
「最初は大変かもしれないけど、前
例ができれば地区の人たちも、次の世
代も付いてくる。『農業っていいじゃ

ん』って言うってもらえるようなモデル
を作るのも、ひとつの役目かな」
形式に囚われず、変化にも前向きな
姿勢。バランス感覚に優れ、新旧の農
業形態の良さを生かした経営だと感
じた。



■ 丁寧な扱いが必要なパック詰め作業。数年前から定年退職した
兄・洋明さん（左）も加わった。法人として、一人に負担が掛かり
過ぎない体制をめざす。

報徳思想と協同組合



小田原市の尊徳記念館敷地内にある尊徳生家

協同組合という仕組みが、コミュニティを創り出し、現代社会の問題の解決に有効だと再評価され、2016年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。今改めて協同組合が見直される中、協同組合の原点ともいえる、二宮尊徳(金次郎)の教え、「報徳思想」について特集します。

農地改革のリーダー 二宮尊徳(金次郎)

二宮尊徳は、幕末の農民で天明7年(1787~1856)に小田原市で生まれました。とても貧しい生活でしたが、苦勞を重ねながらも学問を修めて成功を果たし、農民から努力して武士へと身分を上昇させ、明治時代には農地改革を行いました。

少年時代に両親と死別したため伯父に引き取られ、朝から晩まで働きづめでしたが、勉強することをやめませんでした。帰宅後にあんどんを使って書物を読むことを試みましたが「油がもったいない」

と言われ、そこで、まきを背負って歩く途中に本を読んでいた。尊徳が独学で学んだのは、論語や、中国の哲学書である中庸(ちゅうよう)などの書物でした。

尊徳は荒廃した土地の復興に農事に成功し、農地改革を行って農村の生産性を高め、全国各地の困窮した600余の農村の救済に手腕を発揮しました。

その行動から培った知恵を体系化して唱えたものが「報徳思想」です。

報徳思想の4つの柱

すべての人、物にはそれぞれの良

現代に活かす 報徳の教訓

報徳の4つの柱である至誠・勤労・分度・推譲は、経済経営への発展のための大事な理論です。尊徳の残した言葉には多くの名言がありますが、やはり「道徳なき経済は犯罪である。経済なき道徳は寝言である」というこの言葉は、特に大事な教えだと思えます。

この理論がなければ、今経済は成り立たなくなっていたと思われま。現代においても成功している組織は、少なからず理論や考え方に賛同しているはず。今も、現実の社会に二宮理論をどう適用できるか暗中模索しています。



小田原市
尊徳記念館ガイド
小泉 君夫さん

さ、取り柄があり、それを「徳」と呼びます。その「徳」を「円」融合して、生活に、社会に役立てていくこと、「徳」に報いること」を報徳といっています。報徳思想は「至誠（しせい）」を

基本とし、「勤労（きんろう）」「分度（ぶんど）」「推譲（すいじょう）」の4つの柱があり、これを実行するという考え方が「報徳思想」です。

尊徳の教えと考え



小田原報徳実践会 寄贈

至誠（しせい）
うそいつわりのない真心のこと。尊徳の生き方すべてをつらぬいている精神。

勤労（きんろう）
自分や地域の向上のために、自分にできる仕事にはげむこと。

分度（ぶんど）
自分の置かれた状況や立場にふさわしい生活をおくること。

推譲（すいじょう）
分度によって生まれた力やお金を、自分の将来や社会に譲ること。

至誠（しせい）

損得、好き嫌い、苦楽など考えず、また、対価を求めず、ひたすら相手を思い、誠心誠意を尽くすこと。そして生き方の中心となるものでありと教えています。

勤労（きんろう）

自分の役割、仕事、職責を果たすことが、勤労であると、教えています。

分度（ぶんど）

欲を抑えて、余剰を生み出すこと、これが人の道であると教えています。

推譲（すいじょう）

特に、人のため、社会のために推譲とすることが、人の道として最も重要な推譲であると教えています。

尊徳の残した金言

道徳なき経済は犯罪である、経済なき道徳は寝言である

経済活動は、人々が生活するために必要なものの生産流通などの活動で、社会のための活動であり、自分のための利益追求の活動ではないとして、「経済活動は道徳と一体であること」「至誠」「推譲」が欠けてはならないこと」を教えています。

積小為大（せきしょういだい）

小さな努力の積み重ねが、やがて大きな収穫や発展に結び付く。小事をおろそかにして、大事をなすことはできないと教えています。

一円観

物ごとの全体の姿をとらえる見方です。人は得、富、善、福等に心を奪われがちですが、それは1つの円の半円（表）であり、半円（裏）には、損、貧、悪、禍がついてくる。広い視野で相対的に見る見方が「一円観」です。

自分中心で表面的な見方は、真実が見えず、災いを招き、対立が起

こる。これが半円観です。

一円融合

「一円観」で認め合い、皆が目標に向かつて良さを出し合う。これが「一円融合」です。地域も社会も一円融合すれば良さが発揮されると教えています。

今に息づく報徳の教え

清水に報徳思想を伝えたのは、江戸後期～明治時代の農政家・柴田順作（1814～1891）だといわれています。



杉山報徳社

順作は旧庵原郡原村の名主で、天保のききんによる農民の困窮を救うため、栃木県にいた尊徳に教えを受け、帰郷して農業改革に努めました。

杉山の片平信明（1830～1898）らと各地に報徳社を作り、明治11年（1878）に駿河東報徳社に発展させたと伝わっています。

杉山報徳社のなりたち

一方、旧庵原郡杉山村では、明治初年まで落葉高木の油桐（別名：毒笹）を作り、その実からしぼった油を売って生計を立てていました。しかし、石油の輸入により毒笹の油は売れなくなり、村の大半が生活に困窮していました。

そこで、茶の栽培を進めたのが、順作の報徳思想に触れていた片平信明です。信明は、青年教育のため、納屋の2階で青年の夜学舎を開き、明治9年（1876）には報徳社を発足させ、村民が結束して村の復興に力を注ぎました。

明治14年（1881）にはミカンを導入して、茶とミカンの2本立て



青年教育のために建てられた杉山青年夜学校



杉山報徳社で毎月開かれている常会

にし、その後、村はめざましい発展を遂げました。また、明治21年(1888)には青年たちの勉学の道場として、夜学校を建てています(杉山青年夜学校の説明書きより)。
夜学校は、日本の定時制高校の



杉山報徳社に飾られた報徳訓

報徳訓

父母の根元は天地の令命にあり
 身体の根元は父母の生育にあり
 子孫の相続は夫婦の丹精にあり
 父母の富貴は祖先の勤功にあり
 我身の富貴は父母の積善にあり
 子孫の富貴は自己の勤勞にあり
 身命の長養は衣食住の三にあり
 衣食住の三は田畑山林にあり
 田畑山林は人民の勤耕にあり
 今年の衣食は今年の産業にあり
 来年の衣食は今年の艱難にあり
 年々歳々報徳を忘るべからず

始まりといわれています。明治に建てられた当時の建物は、今も老人いこいの家などとして使用されています。

杉山報徳社は村の復興に向け、青年教育、報徳思想の啓発、資金の蓄積、社会貢献事業などに取り組み、その村民への重要な啓発の場

となったのが、毎月社員(村民)を集めて開催されていた「常会」だとわれています。

現在は、毎月20日に行われ、今でも会の冒頭に参加者全員で報徳訓を復唱しています。報徳訓は、その教えを108字にまとめたもので、杉山地区では夜学校の冒頭

や、子ども会の会合などでも、復唱されていました。今でも杉山地区には、報徳の精神が根付いています。

尊徳の教えに感銘を受けた庵原地域の名士たちは、村の発展のためにミカンや茶の栽培に力を注ぎ、報徳思想とともに地域の産業としてきました。そのことを示すかのように、JA庵原支店敷地内にある広場にも、尊徳の銅像があります。銅像の台座には次のようなことが刻まれています。

「尊徳の教えは、庵原の里をかつて窮乏から発展へと大きく転換させた。

至誠・勤勞・分度・推譲の四つに要約される原理の中で特に推譲の道が光っている。混迷の世相に右も左も超越した推譲こそ、経済の根本であると断じた農聖の面影を、今こそ仰ぐべきであろう」



庵原支店前の広場にある二宮尊徳像

協同組合の原点を見直す

合併45周年記念組合員・役員研修会として、ミュージカル「KINJIRO〜」を2月24日に清水文化会館マリナートで開催します。

JAでは、今回のミュージカルを通じ役員一人一人が自分を見つめ直し、現在取り組んでいる自己改革を邁進させる良い機会になればと考えています。

金次郎の教えと協同組合

飢饉で食べるものもあまりなく、各地で一揆が起っていた時代に、人々が自力で助け合って、暮らした村を再建させた報徳思想は、「弱いもの同士が助け合って幸せな暮らしと社会を築く」という相互扶助の考え方であり、今日の協同組合の原点ともいえます。

JA自己改革に向けて

二宮金次郎の「報徳思想」の教え、「助け合って幸せな暮らしと社

会を築く」、ここにJAの源があります。今年度のJA3か年計画のスローガンは「ともに拓こう、協同が輝く時代」です。

JAは組合員の皆さんとJA、そして地域が協力し合い、暮らしの豊かさを実現し、輝いていけるように自己改革を進めています。

合併45周年を迎えた今、改めて「農業協同組合」の原点に立ち返り、これまで以上に組合員の皆さんの思い・願いを受け止め「農協があって良かった」と言っていただけけるJAを目指して参ります。今後ともさらなるご支援ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。





リスクアドバイザー

赤堀の

ちょっといい話

あるレストランで 食事をして感じたこと

今号では、あるレストランで食事をした時に感じたことを書きます。13時30分からの県主催の会議開始前に、昼食のため施設併設のお店に入りました。時計の針は12時を過ぎたところでした。

食堂スペースの割に、メニューのアイテムは結構ありましたが、私はウエイトレスを確認して、早くできそうなものを注文しました。周りを見渡すと、注文は済んでいるのに料理を待っているという感じの人がたくさん見受けられました。私の料理は12時15分ごろ出てきましたが、料理が届けられず、落ち着かない様子で時計を見たりスタッフに質問したりする人が出ていました。中には強い口調でスタッフに詰りめよっている人もいました。会話の内容から、この施設を1日利用の方で、13時から

顧客の立場に立った 対応とは

研修等が再開される感じでした。

1時間のランチタイムでは、オーダーしてから料理が出るまでの時間が15分となると、75%の人が「限界時間と感ずる」というデータがあることを、友人の店舗管理者から耳にしたことがあります。

正直、私は次回からはこの店を利用しようとは思いませんでした。私と同じ感想をいただいた方も多かったのでは、と想像されます。

どこが問題なのでしょう。皆さんはどう思われますか。私が管理者であれば、以下の2点に関して早急に改善を図ります。

①店舗運営の視点から

この施設の利用者の実態、調理場のシステム、スタッフの数等を考慮し、昼の限られた時間帯に、料理の提供時間をいかに短縮するかを見直す(メニューアイテムの見直し、時間単位のスタッフ数の見直し等)。

②顧客サービスの視点から

スタッフの接客スキルの見直し。時間を気にしながら注文した料理を待つ、客の心理の理解と対応の徹底。

〈例〉

☞受注時

▽「この料理は〇〇分位時間が掛かりますが、よろしいでしょうか」

☞遅れへの対応

▽「ご迷惑をお掛けします。時間が掛かっていますが、現在対応しておりますので、今しばらくお待ちください」の「一声」がほしい。

顧客サービスの基本のひとつとして、

「顧客にとっての状況が変化した場合は、対象となる顧客にその状況を的確に伝達すること」が挙げられます。農協活動での組合員・利用者対応、農業現場での消費者対応の基本でもあります。心して対応に当たりたいものです。



Profile

赤堀三代治 氏

ARMS(アカホリリスクマネジメントシステム)を主宰。全国各地でコンプライアンスやリスク管理をテーマにした研修、講演、コンサルティングを行う。2014年6月からJAしみず理事、2017年6月から監事

家庭菜園

／育ててみよっちゃん／

ニラを育てる



特性とポイント

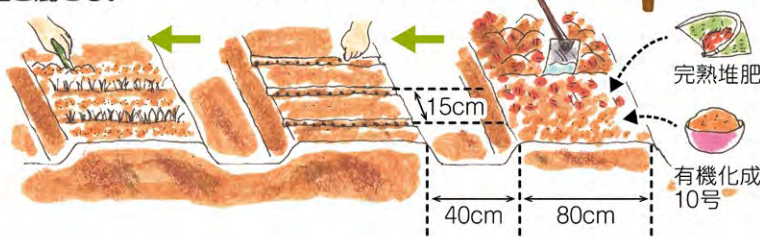
冷涼な気候を好み、休眠状態で越冬するので、耐寒性はきわめて強い。強健で育てやすく、刈り取った後からすぐに新葉が伸び、年に数回の収穫ができる。

多年草だが、株が古くなると収量の品質を損ねるので、適宜株分けし更新を図る。トンネルやハウスを使えば、周年栽培も割合容易にできる。

有機化成10号をすじ間にばらまき、土と混ぜる。

1cm間隔くらいに5mmほど覆土する。

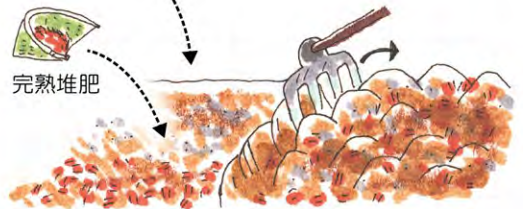
2 苗づくり



1 苗の準備

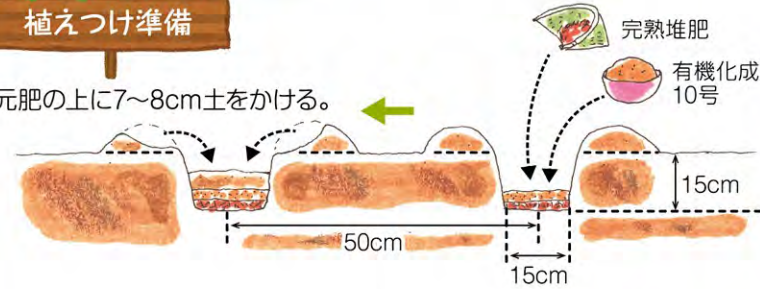
苦土石灰

全面に完熟堆肥、苦土石灰をばらまいて、よく耕しておく。



3 植えつけ準備

元肥の上に7~8cm土をかける。



1か所3~4株ずつ、まとめて植えつける。

4 植えつけ



できあがった苗

草丈20cm前後。根を切らないようにして掘り上げる。



根張りの良いものが良い。



栽培カレンダー

● 種まき ◆ 植えつけ ■ 収穫 □ トンネル被覆

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培(春まき)			●			◆						
トンネル栽培			●			◆						
露地栽培(秋まき)									●			

病害虫防除

散布量：1ℓ以内/1坪

病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用日数	使用回数
ネキリムシ類	ダイアジノン粒剤5	5kg/10a	定植時	1回以内
アザミウマ類・アブラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	4,000倍	前日	3回以内
軟腐病	コサイド3000	2,000倍	—	—
さび病・白斑葉枯病	ストロビーフロアブル	3,000倍	前日	3回以内

グリーンセンター直売

2017年2月の売上ランキング

1位	はるみ
2位	温州ミカン
3位	ポンカン
4位	トマト
5位	キンカン



集出荷センター

054-367-6111

6 収穫<春～初夏>

草丈20～25cmに伸びたころ、地上4～5cmのところから刈り取り収穫する。

有機化成10号を少々ばらまく。

5 追肥

有機化成10号

1か月ごとに2～3回追肥する。

株元には敷わらをして、夏の乾燥を防ぐ。

8 捨て刈り<秋>

古い葉やとうの茎を刈り取り、そろいの良い新芽を出させる。その後15日くらいで収穫できる。

4～5cm

7 とう摘み<7月下旬～8月>

夏になると、とう立ちしてくるので、早めに摘み取って株疲れを防ぐ。

9 収穫<秋>

3～4年繰り返し収穫し続けることができる。株が弱ったころ、株分けして植え替えるか、新しく苗を育てて植えつける。

有機化成10号を少々ばらまく。

■施肥例

散布量：1ℓ以内/1坪

時期	種類		施肥量	施用時期
育苗	元肥	苦土石灰	300g	は種20～30日前
		完熟堆肥	3kg	は種10～15日前
	追肥	有機化成10号	300g	
		有機化成10号	100g	②苗づくりの項を参照
本圃	元肥	苦土石灰	300g	植えつけ20～30日前
		完熟堆肥	3kg	植えつけ10～15日前
	追肥	有機化成10号	650g	
		有機化成10号	50g/回	⑤追肥の項を参照

※ 上記の肥料・農薬は、JAグリーンセンターでお買い求めいただけます。 ※ 農薬は、ラベルに記載された安全使用基準を守って使用しましょう。
 ※ ご注意ください 毒物、劇物に指定されている農薬は、購入の際に印鑑が必要です。



気温の上昇に伴って、この時期から茶樹の活動が活発になり、一番茶生産に向けた管理が本格化してきます。品質の良いお茶を生産するためにも、基準に沿った管理を行ってください。

● 施肥

一番茶品質の約3割は春肥や芽出し肥由来とされています。そのため、下表に沿った施肥を確実に行ってください。施肥後は、畝間の有機物や表層の土壌と軽く混和して吸収効率を高めてください。

樹上・省力コースの方へ

「樹上施肥ロングBB」は、樹冠下の根の活性が高い部分に養分を供給することにより、吸収効率を高めることができるので、畝間ではなく、樹上からの施肥を遵守してください。

表①【施肥】

10aあたり

コース名	施肥名	施用時期	肥料名	袋数
基本コース	春肥	2月下旬 一番茶摘採70日前	清水石灰窒素40B	4袋
	芽出し肥	4月上旬 一番茶摘採30日前	あさつゆ	3袋
樹上・省力コース	春肥	2月下旬 一番茶摘採70日前	樹上施肥ロングBB	4袋
	芽出し肥	4月上旬 一番茶摘採30日前	硫安(細粒)	3袋
芽重・良質茶コース	春肥Ⅰ	2月上中旬 一番茶摘採80日前	清水ミネラル入ぼかし	5袋
	春肥Ⅱ	3月上中旬 一番茶摘採50日前	芽茶ヨーデル	3袋
	芽出し肥	4月上中旬 一番茶摘採20日前	チッソアップ	3袋

★注意!! 清水石灰窒素40Bを施用後、「24時間は飲酒しない」ようにしてください。

※チッソアップ(15kg袋)

★樹上施肥ロングBBは、畝間ではなく樹上から施用してください。

● 病害虫防除

安心安全な一番茶の生産やコスト削減のためにも、極力防除を避けたい時期ですが、特にカンザワハダニの発生が確認された場合には、表②に沿って防除を実施してください。



【カンザワハダニ】

カンザワハダニは気温8℃以上で活動が活発化し、3月中下旬ごろから繁殖が始まります。摘採芽の安全性を考慮して早期に防除するため、萌芽期前の3月に発生密度をチェックし、初期防除に努めてください。

カンザワハダニが多発してからの防除では、薬効が著しく低下しますので、一番茶萌芽前に裾葉の葉裏を確認し、発生が見られた園では、ダニのいる葉裏へ確実に薬剤がかかるよう丁寧な散布を行ってください。

【チャトゲコナジラミ】

前年秋季にチャトゲコナジラミが発生した園地では、一番茶新芽の時期に成虫が多発する可能性があります。このような園地では、カンザワハダニやサビダニとの同時防除として、ダニゲッターフロアブル2,000倍(7日-1回)を散布してください。

【もち病】

例年もち病が発生する園や風通しの悪い園では、コサイド3000の1,000倍(14日)を散布し、越冬した菌の密度を減らすよう努めてください。

表②【防除】

散布時期	摘要
一番茶萌芽前 3月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・カンザワハダニ・サビダニ及び前年秋季にチャトゲコナジラミが発生した園では、ダニゲッターフロアブル2,000倍(7日-1回)を散布する。 ・一番茶で、もち病の発生が予想される園では、コサイド3000・1,000倍(14日)を混用散布する。

● 再整枝(化粧ならし)

再整枝(化粧ならし)をする際には、次の点に注意してください。

【目的】 再整枝は一番茶摘採時に、古葉や遅れ芽等の混入による品質低下を防止するために、摘採面の整枝を行います。

【時期】 2月下旬から3月上旬(摘採50~60日前)を目安に実施してください。時期が早すぎると、再整枝によって出てきた耐寒性の低い葉が、寒害を受けてしまう可能性があります。

【位置】 秋整枝位置より深い整枝は、越冬芽を刈り落としてしまい、芽数の減少・減収・品質低下につながりますので、摘採面から不揃いに出た葉だけを対象に実施しましょう。



柑橘

●病害虫防除

表①を参考に防除してください。ボルドー剤は、薬害が発生するため他剤との混用や近接散布は避けてください。



表① 病害虫防除(柑橘)

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準 ^{*1}
青島温州	3月 (発芽前)	かいよう病	アピオンE	1,000倍	---
中晩柑類			ICボルドー66D ^{*2}	60倍	

^{*1} 使用基準は「収穫前日数-散布回数」をあらわします。 ^{*2} ICボルドーとマシン油乳剤の近接散布は、14日間あける。

●管理作業

「春肥の施用」

春肥は新芽(葉)と花の充実や幼果の発育のために重要です。気温、地温が上昇するにつれて、根からの養分吸収が活発になります。3月より早い時期に施肥すると、根から十分に肥料養分が吸収されずに流されてしまいます。また、3月より遅い時期に施肥すると、新芽(葉)と花の充実や幼果の発育に養分が行き渡らず、樹勢の低下を招いてしまいます。表②の基準を参考に施用しましょう。

なお、春先は雑草の生育も旺盛になり、繁茂しやすくなります。施肥した養分が雑草に吸収されてはもったいないため、除草後に施用しましょう。

表② 施肥(柑橘)

10aあたり

施用時期	品目	肥料名	施用量
3月上旬	極早生	みーちゃん配合A	5袋
	早生温州		
	青島温州(第三紀層)		6袋
	青島温州(礫層土壌)		
	太田ポンカン		
	はるみ		
	不知火・清見		
甘夏・スルガエレガント			

落葉果樹

●病害虫防除

表③を参考に防除してください。今月は、越冬病害虫の密度を減らし、これからの防除全般の負担を軽くすることにつながる重要な防除の時期です。



表③ 病害虫防除(落葉果樹)

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準 ^{*1}
イチジク ^{*2}	3月	越冬病害虫	石灰硫黄合剤	7倍	発芽前---
柿	3月中旬	越冬病害虫	石灰硫黄合剤	7倍	発芽前---
梨(幸水・豊水)	3月下旬	黒星病	オーソサイド水和剤80	800倍	3日-9回
キウイフルーツ (レインボーレッド・ハイワード)	3月(発芽後)	かいよう病	コサイド3000 クレフノン加用	2,000倍 200倍	収穫後~果実肥大期---

^{*1} 使用基準は「収穫前日数-散布回数」をあらわします。

^{*2} ネコブセンチュウ多発園では、バストリア水和剤(生育期---)1~5kgを300ℓ(10aあたり)に希釈して土壌表面に散布する。

●管理作業

「春肥の施用」

イチジクとキウイは春肥の施用時期です。春肥は新芽の発育のために重要です。表④の基準を参考に施用しましょう。

「土壌管理」

落葉果樹は地上部より地下部(根)が先に活動を始めるため、日光をあて、地温が上がりにやすくなるよう除草を行いましょう。

土壌水分が不足すると、新根の発生や養分の吸収が悪くなり、新梢や花蕾の充実に支障をきたします。圃場が乾燥している場合には、十分なかん水をしましょう。

表④ 施肥(落葉果樹)

10aあたり

施用時期	品目	肥料名	施用量
3月上旬	イチジク	果樹配合11号	4.5袋
3月中旬	キウイフルーツ	有機化成10号	4袋



3月の営農ワンポイント

花卉

洋ランの株分け・植え替えの適期



● 株分け・植え替えのポイント

- ① 新芽(2~3cm)が動き始めている株で、2~3バルブを1株とし、黒い根はすべて切り落とします。
- ② 根腐れがひどい株や弱っている株(ウイルス病の病徴が見られる株)は、健全な株とは隔離し速やかに処分します。
- ③ 株分け、植え替え後は、保温と湿度が重要です。特に、乾燥しすぎには注意してください。

● 鉢について

- ① 株分けの場合は、元の鉢の大きさと同じか、やや小さめの鉢を使う。
- ② 植え替えの場合は、少し大きめの鉢を使う。
- ③ 鉢を再利用する場合は、張り付いた根などをきれいに取り除き、ケミクロンGの1,000倍液にて浸漬消毒する。
また、特にウイルス病の感染を防ぎたい場合は、予めビストロン10(第三リン酸ナトリウム10%液)の2倍希釈液に10分以上浸漬消毒しておく。



※ビストロン10は強アルカリ性なので、素手はもちろんのこと、作物にも直接使用しないでください。

● はさみについて

- ① ウイルス病の感染ルートとして、はさみからの感染に最も注意を払わなくてはなりません。
- ② 数本のはさみを用意し番号を記しておきます。
そのはさみをビストロン10の2倍希釈液に浸し、番号順に使用します。



イチゴ

春のハウス管理



● 病害虫防除

温度の上昇に伴い、病害虫の発生に注意しましょう。特にスリップスやうどんこ病は、サイドの開放を始めると急激に増加しますので、定期的な薬剤散布を心掛け、予防に努めます。ハダニ類は多発すると株の樹勢を落とし収量へ影響を及ぼしますので、低温期からこまめに観察し、発生密度を低く抑えましょう。

天敵を導入している圃場において天敵が定着していない時は、状況に応じて再放飼し、ハダニ類が増殖する前に天敵の密度を増やしておきましょう。既にハダニが多い圃場については、天敵放飼前に天敵への影響が少ない薬剤を散布し、密度を低くしてから放飼します。

気門封鎖系ダニ剤は天敵にも影響がありますので、スポット的な利用、もしくは追加放飼前に使用しましょう。また、高温下で散布する場合は薬害が出やすいので、十分に注意してください。

● 収穫出荷

気温が上昇する時期となるため、過熟、軟果対策を行います。

収穫作業は果実温度の上昇前の時間帯に行い、予冷を徹底します。出荷調整は着色基準に従い行うようにしてください。





「カンタン」「ナットク」料理のヒ・ケ・ツ教えます♪

ホウレン草カレー

～栄養満点!これ一皿で1日分の緑黄色野菜が摂れちゃう♪～

材料 2人分

- A** ホウレン草……………1束
タマネギ……………1/2個
舞茸……………1株
カシューナッツ……………25g
フライドオニオン(あれば)
……………大さじ1
ニンニク……………1/2片

- クミンシード……………少々
水……………100ml
コンソメ顆粒……………小さじ1/2
カレールー(粉末状)……………2皿分
カッテージチーズ……………お好みで

- B** カボチャ……………正味150g
ヨーグルト……………100g
パンケーキミックス……………150g
スライスアーモンド……………20g
ピザ用チーズ……………15g

作り方

1. カレーを作る。ホウレン草は洗い、多めの塩(海水程度の塩辛さ。3%が目安)を入れた熱湯で1分ゆでる。冷水にとり、すぐザルに引き上げる。しっかり水を絞り、適宜切る。
2. タマネギはスライスして耐熱容器に入れ、ふんわりとラップをかけて電子レンジ(600W)で2分加熱する。舞茸はほぐす。ニンニクは薄皮をむき、芽を取る。Aをすべてフードプロセッサーに入れ、滑らかなペースト状にする。
3. フライパンにクミンシードを入れ、香りがたつまで弱火で乾煎りする。2と水、コンソメを加え、混ぜながら弱めの中火で加熱する。ふつふつとしてきたら一度火を止めてカレールーを入れ、均一になるまでよく混ぜる。再び点火して混ぜる。
4. ナンを作る。カボチャは少し多めに切り、種とワタを取る。ぬらしたキッチンペーパーとラップで二重に包み、電子レンジで5分30秒～6分加熱する。スプーンで果肉をくり抜き、2枚の食品用ポリ袋に75gずつ計って入れる。カボチャ以外のBをすべて半量ずつに分ける。
5. 4のポリ袋にヨーグルトを加えて混ぜ、パンケーキミックスを入れて切るように混ぜながらまとめる。ほぼまとまったら、スライスアーモンドを加える。生地を2cm厚に広げ、中にチーズが入るように乗せ、半分に折って成形する。これを2枚作る。
6. フライパンに並べてフタをし、中火で3分、弱火で3分焼く。裏返して2分焼けばできあがり。

【旬と季節のまめ知識】



遠山 由美

野菜ソムリエ上級プロ
NR、食育プロデューサー
他<略歴>

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。



ホウレン草

大根、白菜、ブロッコリー、キャベツ、わさび…「野菜界最大家族」と呼ばれ、仲間が多い「アブラナ科」に比べると、知られているのはピーツか不断草程度の「野菜界最小家族」＝「ヒユ科」に属するホウレン草。1日の野菜摂取目標量・350g以上のうち、食べにくい、調理に手間がかかる、と敬遠されがちな緑黄色野菜の目標量は120g。ちまたにあふれる栄養学系情報に振り回されず「なるべく特徴の似ていない食品を多種多彩に食べる」ことを心掛けるのが健康作りのコツ。似たものが少なく栄養価の高いホウレン草はオススメです。

JAしみずが、各地域の活動やイベントなど、さまざまな話題を独自に取材し、ご紹介いたします。

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コン表彰式

森岡果鈴さん(清水三中)県知事賞

第42回県「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール(JA静岡中央会主催)の表彰式が1月6日、葵区で開かれました。

今回は県内の小・中学校242校が参加し、作文1398点、図画1519点の応募がありました。作文部門では静岡市立清水第三中学校2年生の森岡果鈴さん、図画部門では浜松市立南部中学校3年生の鈴木実緒さんが最高位の県知事賞に輝きました。入賞作品は、「静岡県のJA」ホームページで紹介されています。



▲賞状を受け取る森岡さん



▲表彰式に出席した受賞者たち

その他、清水区の入賞者は次の通り。

◆図画部門

▽優秀賞=和田小桃さん(市立清水有度第二小学校4年生)

▽優良賞=塩澤和さん(県立清水南高等学校・同中等部1年生)

飯田東小学校5年生

育てた稲のわらを利用 クリスマスリース作り

静岡市立清水飯田東小学校の5年生79人は12月19日、総合学習授業で昨年6月から育ててきたバケツ稲のわらを使ったクリスマスリース作りを行いました。飯田地域の米生産者の赤堀充さんや女性部飯田支部の指導のもと、児童は2人1組になり、わらを持って固定する係、わらを編み込む係に分かれて作業を行い、慣れない作業に苦戦しながらも協力して作品を完成させていました。同校では毎年バケツ稲の栽培を通して、農業の大変さや食の大切さを学んでいます。



▲赤堀さん(左)に教わり、わらでリースを作る児童

由比1地域1協同活動

栽培したそばで年越しそば作り

由比支店は12月27日、年越しそば作りを行いました。地域組合員と一緒に「1地域1協同活動」の一環として毎年行っています。そばは、地域運営委員会と職員が8月に種をまき、11月に刈り取ったものを使用。栽培管理も組合員と職員と一緒に当番制で取り組み、今年は約20kgのそばの実を収穫しました。

そば打ちは、女性部由比支部の部員が講師となって支店職員も挑戦し、約150食分のそばが完成。地元特産の桜えびをふんだんに使ったかき揚げを乗せて、参加者全員で打ちたて、ゆでたてのそばを味わいました。



▲女性部と職員が行ったそば打ち

12月6日開催／ハーベストキッチン

今年の年越しは手作りそばで

ハーベストカレッジ12月の講座は、年越しにぴったりの「手作りそばづくり」です。当JAと姉妹提携を結んでいる長野県のJA大北産のそば粉を使用し、(株)JAしみずサービスの前澤勉社長と菅原伸子さんから手ほどきを受けました。

そば粉に湯を加え、水分が全体に行きわたるように混ぜ込んだ後、練り上げたそば粉を麺棒で均一に延ばせば生地の完成。1~2mm太さに丁寧に切り、初めての手打ちそばを仕上げました。



▲できあがった生地を麺棒で伸ばす受講生



▲打ちたてのそばを試食

アドバイザーフォローアップ研修

鳥獣害対策しっかり 集落環境診断学ぶ

JA静岡中央会は12月7~8日、鳥獣被害対策総合アドバイザーフォローアップ研修を清水区で開きました。地域の被害防止対策を指導するアドバイザーの資質向上が目的。参加者は、被害を未然に防ぐための集落環境診断の手法や、防護施設の設置方法を学びました。

元農研機構近畿中国四国農業研究センター・鳥獣害研究チーム長の井上雅央さんが講師を務め、農家やJA、市職員ら30人が参加しました。集落環境診断実習は、JAが借りているモデル園地「きらり村松農場」で実施。ワイヤメッシュと電気柵の複合柵を設置し、効果的な緩衝帯の設置手法を学びました。



▲鳥獣被害対策の防護柵を設置する受講者ら

試食や体験教室も好評

JA自慢の「ミカン選果場」を一般公開

当JAは12月17日、地元特産品の柑橘類を地域住民に知ってもらおうと、JA柑橘共選場の一般公開を行いました。柑橘共選場には朝から大勢の市民が集まり、JAに持ち込まれたミカンが、どのような過程で青果市場に出荷されているのかを見学していました。

また、会場では青島ミカン、ポンカンの試食販売や、ミカンの皮むきアートやクリスマスリース作りの体験教室も行われ、来場者たちは楽しいひと時を過ごしていました。



▲選果ラインを見学する参加者

県いちご協議会

嶺保育園へイチゴ贈る

県内のイチゴ生産者でつくる県いちご協議会は12月13日、前日の県いちご果実品評会に出品されたイチゴ600粒を清水区の嶺保育園に贈りました。

当JA職員で、いちご娘を務める大村彩さんと生産者など関係者が保育園を訪問。県の代表品種「紅ほっぺ」と「きらび香」を園児に手渡すと、園児は「大きい」「真っ赤だね」と嬉しそうな表情を見せていました。



▲いちご娘や生産者からイチゴを受け取る園児

第17回 地元茶でもてなす会

清水のお茶をイロイロ楽しむ！

日時 2月25日(日) 10:00~15:00(受付9:30~)

場所 巨龍山 清見寺
(静岡市清水区興津清見寺町418-1)

参加費 1人 500円 (小学生以下無料)

※前回(第16回)の豆茶碗持参の方は、参加料100円割引となります。
※別途有料イベントもあります。
※事前のお申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。



■第16回 地元茶でもてなす会の様子

内容

- ① 茶の飲み当て「茶歌舞伎」※当日要予約
- ② 若手生産者による呈茶席・販売
- ③ 3種のプレミアム茶の茶席(1種200円・菓子付)
- ④ オリジナルのブレンド茶づくり(300円)
- ⑤ 和菓子作り体験(300円)
- ⑥ 清見寺見学ツアー
- ⑦ 地元人気菓子店の和洋スイーツ販売
- ⑧ 農産物・手打ちそばなどの販売

※例年、午前中は大変混みます。午後にご来場いただくと、ゆっくりお楽しみいただけます。
※イベントはやむなく中止、変更する場合があります。

特典 有料入場者全員に
豆茶碗をプレゼント！

お問い合わせ 清水みんなのお茶を創る会
(事務局/JAしみず茶業センターきらり)
TEL:054-365-1600



開催期間：1月1日(祝)～2月25日(日)

地元静岡市産の果物を使ったスイーツを静岡市内の対象のお店26店で買ってスタンプを3つ集めると、ホテルお食事券や協力洋菓子店で利用できる商品券など素敵なプレゼントが当たります。



賞品	抽選で2名様	抽選で4名様	抽選で26名様
	ホテルセンチュリー静岡または ホテルアンシア静岡1万円分のお食事券	静岡市産 "旬"の果物	対象店限定 2,000円分の商品券

お問い合わせ
静岡市役所農業政策課みかん・園芸・畜産係
〒424-8701 静岡市清水区旭町6番8号
TEL.054-354-2091 FAX.054-354-2482
MAIL. nougouseisaku@city.shizuoka.lg.jp



期間中、JAマイカーローンまたはJA教育ローンをお借入れになるともれなく **QUOカード(3,000円分)をプレゼント!**

プレゼント発送時期:7月初旬(予定)

キャンペーン期間 2月1日(木)～5月31日(木)

対象店舗 JAマイカーローン/マイカーローンN/JA教育ローン/スーパー教育ローンN

※キャンペーン期間中に全額を返済された場合や、返済が滞った場合は、本キャンペーンの対象外となります。

畑総「梅島地区」の農地を売却します

清水区内の農業者に、畑総「梅島地区」内の吉原土地改良区が所有する土地を整備して、希望者に譲ります。詳細は事務局までお問い合わせください。

売却予定地：畑総「梅島地区」内の農地

※現在、整備中のため引渡しは、2～3年後を予定。

標高：約230m 耕作土：平均60cm
面積：4,700㎡ 価格：要相談
(分割可)

お問い合わせ 吉原土地改良区事務局 (JAしみず 農地整備課)
TEL.054-367-3214 FAX.054-364-4001



畑総・梅島地区

不要な農機・農具の有効利用！しみずの風掲示板をご利用ください

農業をやめたり、作物を変更した生産者の皆さんが不要になった農機や農具を、必要な方に有効利用していただくための情報提供の場です。掲示板の利用は各営農窓口へお問い合わせください。

譲り受けを希望する方、譲り渡しを希望する方ともに、営農センター・営農拠点にある「農機・農具の掲示板申込書」に必要事項を記入して、提出してください。



掲示板利用の流れ

手数料
不要

- 申込 営農センター・営農拠点
- 締切 毎月末日
- 掲載 翌々月の広報誌
- 取引 当事者間で直接交渉。不成立の場合は、再掲載が可能。

●お問い合わせ
JAしみず 購買課
TEL：054-340-0096

探しています！



種別	ミカン20kgコンテナ
数量	100個
価格等	100円
その他	色網目不問
連絡先	原(清水区原) TEL：054-367-1685

皆さんからの投稿大募集！

おたよりはもちろん、短歌、俳句、川柳、絵手紙、イラスト、写真など、読者の皆さんからの投稿をお待ちしています！

郵便番号、住所、氏名(必要な方はペンネーム)、年齢、電話番号、写真には簡単なコメントをお書き添えの上、ご応募ください。採用された方にはお米券を差し上げます。

携帯電話からの応募はこちら



郵便 〒424-0192 静岡市清水区庵原町1番地
JAしみず広報課 宛

FAX 054-364-8851

MAIL ja-shimizu@shimizu.ja-shizuoka.or.jp

理事会だより | 定例理事会：12月22日(金)

議 事

- 2017年度上半期監事監査指摘事項に対する回答について
- 農協資産自己査定基準の改訂について
- 固定資産の取得について
- 長山施設リース終了に伴う関連規程類の一部変更及び廃止について



編集後記

二宮尊徳については、皆様のご協力により、ようやく書けたという感じです。逸話や金言が多く、どの様な切り口で書けば良いのか困りました。尊徳の残した功績は多く、計り知れないのだと思います。悩んでいる時に見た、「ねごねご日本史」で尊徳を取り上げていました。人物をよくとらえており、素晴らしい出来のアニメだと思います。NHKの制作、さすがです。(伊藤)

年齢を重ねるにつれ「できるだけ野菜を」とか「塩分控えめに」なんて考えて食事をとるようになりました。先日調べていたら、1日の塩分摂取量の目安は7g、対して日本人は平均10g以上だとか。ラーメン1杯で5g以上、7gはなかなか厳しいハードルです。あまり神経質にならず「バランス良く」が一番ですが、ちょっとだけ気を付けようと思いました。(杉山)

手や爪が黄色くなるからと昔はあまり食べなかったミカンなどのかんきつ類。JAで働くようになってからは食べる機会も増え、いつの間にか大好物に。1月はキンカン「こん太」の出荷が始まり、2月からは「はるみ」も登場するということで、今から楽しみです。清水の農産物は素晴らしいものばかりだとあらためて実感しています。(佐藤)



3ページ
QRコードで
チェック!

ワッパワ しみずっ子

力を合わせて
せーのー

ぱったんぱったんつぎでお餅

きなこ餅
おいしいよ

うまく
できるかな

お好みの
トッピングを
しちゃお

お餅つくり
おもしろーい

オイスイート
ピース

出演募集
このコーナーでは、ご出演いただける清水区内のこども園や保育園、幼稚園を募集しています。詳しくは左記のJA広報課まで!



しみずっ子

2018年2月1日発行
(毎月1回1日発行)
通巻592号

あなたの立場で一生懸命
JAしみず

発行 | 清水農業協同組合 〒424-0192 静岡県静岡市清水区庵原町1番地
編集 | 総務部 広報課 Tel.054-367-3221 Fax.054-364-8851
http://www.ja-shimizu.org



いただきますあ〜ず



八坂幼稚園
(清水区八坂東)

「たたく、つよく、なかよく」

1歳〜就学までの園児221人が通う八坂幼稚園では、正しい生活習慣、感謝、命を大切にする、おかげさまの心を仏様の教えから学んでいます。



ヨイショオ〜